



郡駅伝大会で三連覇。
笑顔で金メダル。

生きて英語を体験し、「聞く・話す」能力の向上を目指す 涌谷町イングリッシュキャンプ事業

本 町では、平成6年から平成29年まで21回にわたりアメリカへの中学生海外研修派遣事業が実施されてきました。しかし、募集人員が10人と限られており、経済的負担も大きかったため、今回募集人員を増加して、より多くの生徒の参加ができるよう

を体験し、最終日には故郷涌谷をPRするプレゼンテーションを行いました。

平成33年度に施行される新学習指導要領では、「身近な事柄を中心に、コミュニケーションの育成」や「我が国や郷土の伝統や文化について英語で伝える」ことが重要視されています。これからは、単に英語を話せるだけではなく、「英語を用いて何が求められるか」という点が求められます。今回のイングリッシュキャンプでは、少人数でのグループワークを通して特に「聞く・話す」能力の向上を目指し、英語で課題を考える力を育み、さらにプレゼンテーションスキルを身に付け、グローバル人材の育成を目指すものとして実施されました。

県内でもこのような体験学習を実施している自治体は数少なく、3人のALT（外国語指導助手）との授業だけでなく、食事時間など研修生活全体を通して「生きて英語」



②



①



③



④

活 動の概要として、1日目には、「自分自身を知り、新しい物事に挑戦する意志を育成する」ことを目標とし、世界の挨拶として握手の仕方が説明されました。適度に力を入れ、目を見て、3回を目安に握手を交わすことを意識しながら、生徒たちは学年を越えて打ち解けて自己紹介を行っていました。また、活動をしていく中で、間違いを恐れず、積極的に質問する様子も見受けられました。

2日目は、「他者理解を深める」ことを目標とし、まずは家族について考えました。家族の職業、得意なこと、雰囲気などについて考える機会を持ったことで、改めて理解を深められたようでした。その活動の中で、私の家族は何に貢献しているか考える内容があり、世界の安定にどのように貢献しているかについて、ALTから「一人一人は違うが理解し合うことはできる。それが安定である。つまり、英語を勉強することで、世界の安定に貢献していると言える」と説明があり、生徒たちは感慨深く聞き入っていました。

3・4日目は、「意思疎通能力を育成する」ことを目標にし、各ALTのサポートのもと、最終日のプレゼンテーション発表に向け、3つのグループに分かれました。

事前研修会で、涌谷町をPRする資料を各自3種類は準備するよう課題を出していたので、持ち寄った意見を、全体としてどのようにまとめ上げるかについて話し合いました。初めはなかなか方向性が定まりませんでした。協力して意見を出し合い、個々の担当箇所を仕上げ、皆で一つの発表を作り上げることができました。発表にあたり、本町のALTのクリス先生が慣れない日本語で、故郷の町エルマーについて発表。その中で、単に話すだけでなく「伝える」ことを意識する重要性に触れていた

ので、生徒たちの本番の発表では、相手に伝わる大きな声でゆっくり、目を見て笑顔で、ジェスチャーを交えて発表できました。見学に来ていた教育委員や町議会議員の皆さんも感心していました。この4日間を通して、生徒たちは一人で積極的に取り組むだけでなく、自分だけで

決できないことは友人同士で助け合ったり、ALTに質問することを恥じない心を持つことが大切だと気づけました。また、他者と競うだけでなく、自分の能力や知識を高めることができました。これも、生徒の皆さん一人一人が努力した成果だと思えます。

最後に、この事業は、生徒のより深い学びを実現させるため、涌谷中学校の先生方にもご協力をいただきました。また、最終日は台風の影響もありましたが、保護者の皆さまのご理解・ご協力のおかげで無事事業を終えられました。参加した生徒の皆さんには、ここで得られた経験を今後の生活に大いにいかして欲しいと思います。

【写真解説】

①ALTの話に耳を傾け、自らメモをとって自発的に学習するのがイングリッシュキャンプ②参加した生徒全員に英会話の機会を与えるため、工夫されたゲームが段階的に取り入れられている(写真はフルーツバスケット)③辞書を使って自分で調べる学習と他の生徒と協力して活動する、英会話を中心とした学習の双方を高める研修内容④体験型活動でALTから“生きた英語”を学べる⑤疑問点は、3人のALTと1人のまとめ役の講師が個別サポート⑥すべての学習は最後の郷土涌谷を紹介するプレゼンテーションにつながる⑦23人が3つのグループに分かれ発表。クイズを取り入れるグループもあり、盛り上がった⑧大橋町長と城山の金さんが涌谷の四季を案内するグループもあり、三者三様の発表に⑨最後に、ALTから全員に修了証が授与された



日程	研修時間	宿題学習時間
8月6日(月)	10時30分～18時	19時～20時
8月7日(火)	9時～18時	19時～20時
8月8日(水)	9時～18時	夕食がバーベキューのため、研修時間に組み込み
8月9日(木)	9時～11時	

朝食7時30分～8時30分、昼食12時～13時、夕食18時～19時(3日目の夕食は、18時～19時30分)

《タイムスケジュール》

《宿題学習時間について》
その日の学習内容を復習する時間で、ALTが生徒の学習をサポート。配布したテキストに課題が組み込まれていました。



創成～努力が残す歴史と誇り～

涌谷中学校運動会

9月2日(日)に、平成最後の涌谷中学校運動会が開催されました。
夏休み明けの1週間で本格的に練習し本番を迎える恒例の運動会。今年は、8月後半にぐずついた天候が続いたため、一度も屋外での練習ができませんでした。加えて、当初は9月1日(土)の開催を予定していましたが、雨天のため順延となり、プログラムも短縮。
それでも、涌谷中学校の生徒の皆さんは、今年度の生徒会スローガン「創成く努力が

残す歴史と誇り」を體現するかのように、縦割りチームごとに一丸となり、新たな歴史を刻みました。
各学年ごとのクラス対抗のリレーや団体競技では、時に勝利に向けて奮闘し、時にユーモアを交えて会場を沸かせ、応援合戦では、屋外での十分な練習ができなかったにもかかわらず、動作や表現が乱れることなく、勇姿を披露しました。
ぶっつけ本番で臨んだ人文字では、「成2018」を見事に完成させました。



チームワークが問われた

団体競技

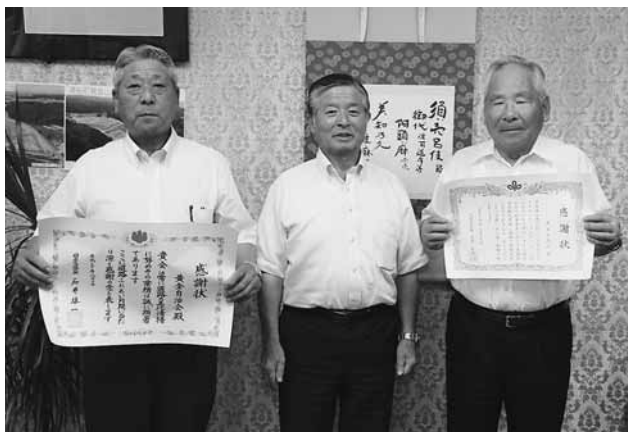


勝敗を分けるクライマックス
スウエーデンリレー



気合ほとばしる

応援合戦



国土交通大臣と宮城県知事から 黄金自治会に感謝状を贈呈

わくや天平の湯から天平ろまん館までの区間の国道34号線沿いに天平フラワーロードを整備する黄金自治会に対して、8月1日(水)に国土交通大臣から、8月30日(木)には宮城県知事から感謝状が贈られました。

黄金自治会では、地域住民をはじめ、涌谷高校の生徒にも協力してもらいながら花壇の整備や草刈りなどの清掃活動など、長年にわたって地域の環境美化に尽力されてきました。



涌谷中学校女子チームが三連覇達成 遠田郡中学校駅伝競走大会で躍動

9月7日(金)に、美里町南郷球場周辺を会場に、遠田郡中学校駅伝競走大会が開催され、涌谷中学校から男女それぞれ3チームが出場しました。

女子の部では、涌谷Aチームが、5区12.95kmのコースを52分10秒の記録でたすきをつなぎ優勝。涌谷中学校女子チームは、この優勝によって大会三連覇となりました。

また、男子の部では、涌谷Aチームが6区18.6kmのコースを1時間7分51秒で2位に入賞しました。

個人では、女子の部で、岩渕心春選手(1区・涌谷A)、菅原優那選手(2区・涌谷B)、石川萌衣選手(4区・涌谷C)、伊藤牙香選手(5区・涌谷A)、男子の部で、鈴木颯斗選手(1区・涌谷A)、菅原志陽選手(6区・涌谷A)が区間賞となりました。

優勝した女子チームは、10月3日(水)に利府町で開催される県大会に出場します。

その他の大会結果については、次のとおりです。

《大会結果》

女子の部：涌谷Bチーム第4位(55分40秒)・涌谷Cチーム第7位(57分23秒)

男子の部：涌谷Bチーム第5位(1時間10分12秒)・涌谷Cチーム第7位(1時間11分55秒)



涌谷町への移住定住を後押し 住宅金融支援機構と協定を締結

8月31日(金)に、涌谷町は住宅金融支援機構と「【フラット35】地域活性化型」について協定を締結しました。

この協定締結により、涌谷町が実施する「わくや新生活応援補助事業」とともに、住宅金融支援機構が提供する「最長35年長期固定金利住宅ローン【フラット35】」を利用することで、当初5年間の借入金利を、年0.25%に引き下げられるようになります。本件については、まちづくり推進課(☎43-2119)までお問い合わせください。



涌谷町婦人防火交通安全クラブ連合会が恩返し 平成30年西日本豪雨に義援金

9月7日(金)に、涌谷町婦人防火交通安全クラブ連合会は、涌谷町を通じて日本赤十字社に、平成30年西日本豪雨の義援金として96万5581円を送金しました。

この義援金は、東日本大震災で全国から受けた温情に少しでも恩返しをしたいということで、被災者の生活の一助となるようにと47単位クラブ3773人の会員と地域住民から募りました。これまでに平成28年熊本地震や岩手・宮城内陸地震など、多くの被災地へ義援金を送金しています。



3039人の長寿をお祝い 平成30年度涌谷町敬老会を開催

9月14日(金)に、農村勤労福祉センターを会場に、平成30年度涌谷町敬老会を開催しました。

今年度の対象者は、3039人(男性1094人・女性1945人)。町内の最高齢は、村上シモヨさん(脇区)で109歳です。

会では、式典において記念品が贈られ、祝宴では城山の金さんのはと麦茶で乾杯し、涌谷幼稚園の園児によるよさこい、繡光会による琴の演奏、南京玉すだれといったアトラクションで楽しいひと時を過ごしていただきました。



火の用心！地域に防火を呼びかける 涌高美術部制作の看板を詰め所に設置

平成29年6月に新築された涌谷町消防団第4分団第2班の詰め所に、涌谷高校の美術部の生徒が制作した「火の用心」と書かれた看板が設置されました。

この看板は、涌谷高校の警備員を務める川名徳行団員が美術部の顧問に、新しい詰め所のシンボルになるような看板を設置できないかと相談し、実現したものです。

第4分団第2班では、期待以上の仕上がりに、地域の防火意識の向上につながると満足しています。

広告

涌谷町シルバー人材センターからのお知らせ

涌谷町に居住する健康で意欲のある60歳以上の方が登録しております。平成30年度もそれぞれの方の技術や体力に合わせてがんばってまいりますので、よろしく願いいたします。

【入会を希望される方について】

随時入会説明をいたしますので、事務所へお越しください。

【仕事の依頼について】

電話か事務所に直接お越しください。仕事の内容・条件・予算をお伺いし、まずは、お見積りいたします。

▶問い合わせ先

(公社)涌谷町シルバー人材センター ☎44-1710

広報わくやに広告を掲載しませんか？

「広報わくや」に掲載する広告を募集します。

広告枠はこの枠と同じ縦4.2cm、横8.5cmで、1枠あたりの掲載料は5,000円になります。掲載希望の方はご連絡ください。

企画財政課 企画班 ☎43-2112

わくわくパラダイスを開催

8月26日(日)に、涌谷町公民館において、「わくわくパラダイス」を開催しました。

子どもたちが大好きな「風呂敷バルーン遊び」や「大型絵本読み聞かせ」などを行った後に、美里町で活動している“人形劇サークル青虫くん”の皆さんによる人形劇を鑑賞しました。

人形劇やエプロンシアターなど、手作り人形を使った本格的な人形劇を間近にしました。最後に、オカリナ演奏も聞いたり、“おひさまスマイルのうた”を歌うなど盛り沢山の時間を過ごし、笑顔あふれる会となりました。



こちら-町長コラム- 町長室です

涌谷第一小学校に放課後学童クラブを新設

放課後学童クラブは、下校後に保護者が働いていて家庭に誰もいない児童を預かるという事業で、国では小学校6年生までとしています。涌谷町では、箕岳白山小学校の開校に併せて学校内に新設し6年生まで預かっていますが、涌谷第一小学校と月将館小学校では4年生までの状況です。登録人数は涌谷第一小学校が122人で、学校内の1教室と八雲児童館を利用。6年生まで延長すると162人となります。月将館小学校は36人で、校舎内の杉の子学童クラブを利用しており、6年生まで拡大すると46人となります。

涌谷第一小学校では、すでに利用者が定員を大幅に上回っていることから、学童クラブを新設することとしました。定員を180人として十分に利用者を受け入れられるようにし、安全にも配慮し校地内に建築するという事で平成30年度中に設計を行い、平成32年度から稼働できるよう、進めてまいります。

これまで八雲児童館は、八雲神社所有の土地にあり、氏子の皆さんにも温かく子どもたちを受け入れていただきましたことに御礼申し上げます。子どもたちの賑わいが途絶えるわけではないので、八雲神社の例大祭や諸行事などにもご案内いただければと思っております。八雲児童館活動に応援いただいていた地域活動母親クラブの先生方には改めて御礼申し上げますとともに、引き続き子どもたちの成長にご支援をお願いし、報告といたします。

涌谷町長 大橋信夫

【町長日程(平成30年8月15日~9月14日)】

日程	行事名	場所
15	涌谷町戦没者慰霊祭	城山公園慰霊碑前
18	民団みやぎ林間学校	天平ろまん館
19~23	アメリカサリナス表敬訪問	カリフォルニア州サリナス
24	秋の交通安全運動推進会議	涌谷町役場大会議室
31	住宅金融支援機構フラット35協定式	涌谷町役場大会議室
2	消防団秋季演習	涌谷スタジアム
2	放射性汚染廃棄物処理に関する説明会	涌谷公民館
4	東地区老人クラブパークゴルフ大会	涌谷パークゴルフ場
5	西地区老人クラブパークゴルフ大会	涌谷パークゴルフ場
6~12	涌谷町議会定例会9月会議	議場
14	敬老会	勤労福祉センター

しろやまさん 城山の金さん徒然日記

箕岳山観光栗園が大盛況

箕岳山にある観光栗園が、今年は天候にも恵まれたことによって大豊作となり、9月半ばの週末は3連休ということもあり、仙台市や石巻市などの涌谷町外からも大勢の家族連れでにぎわいをみせておった。

一昨年は台風で、昨年は冷夏によって十分な収量とならなかったそうじゃが、今年の夏は、酷暑ではあったものの日照があり、台風などによる被害も少なかったため、大粒の栗がたくさん実っておった。

また、日々、羊を飼いながら観光栗園内を管理される駒米宏一郎殿の努力と、栗園内を羊さんたちのふんによる土壌への栄養補給の賜物じゃろう。ありがたいことじゃ。



写真) 天候にも恵まれ大粒の栗が実っておったぞ

PickUp! くらしの情報 Information

お知らせ

善意をありがとう

- ▼ふるさと納税として（8月分）全国の25人の皆さん 43万4千円
- ▼ブランド米創出事業支援ふるさと納税として（8月分）全国の4人の皆さん 14万5千円
- ▼農業振興の一助として
小塚金山牛頭天王講
代表 大平重敏さま
1万2657円



涌谷町では、玄米食専用米「金のいぶき」の地域ブランド米化を目指し、ふるさと納

税制度を活用した「ガバメントクラウドファンディング」を開始し、300万円を目標に事業資金の寄付を募っています。通常のふるさと納税と同様に、5千円を超える寄付をした町外の人に、感謝の気持ちとして選べる特産品を多数ご用意しています。

希望者には申込書と返礼品カタログを送付しています。

▼問い合わせ先 総務課
☎43-2111

国民年金のお知らせ

便利な納付方法について

《口座振替がお得です》
国民年金保険料の納付には、口座振替が利用できます。口座振替には、月々50円割引される「早割制度」や現金納付よりも割引額が大きい「6カ月前納」、「1年前納」、「2年前納」などがあり、大変お得です。

口座振替を希望する人は、納付書または年金手帳、通帳、金融機関届出印を持参の上、希望の金融機関または最寄りの年金事務所へお申し出ください。

《電子納付(Pay-easy)の利用》

Pay-easyなら、自宅や外出先から、夜間や休日でも納付

ができ便利です。

納付書の左側に記載されている「収納機関番号」、「納付番号」、「確認番号」をPay-easy対応のATM、インターネットバンキングまたはモバイルバンキングの画面に入力するだけで納付できます。

ただし、コンビニエンスストア内に設置されている複数の銀行に対応しているATMでは利用できませんので、ご注意ください。

▼問い合わせ先 古川年金事務所 国民年金課 ☎23-1200
町民生活課 町民生活班 ☎44-2898

秋季町民一斉清掃

10月13日(土)午前6時～8時

各地域の清掃に協力ををお願いします。清掃に出たゴミは「燃やせるゴミ」「リサイクルのできない汚れたゴミ」に分別し集積所に出してください。今回は、側溝などから出る土砂は回収しません。また、家庭から出るゴミも収集しません。



▼問い合わせ先 町民生活課 町民生活班 ☎43-2113

平成30年度元気づけや創生事業補助金の審査結果

8月22日(水)に、涌谷町役場西庁舎第一会議室において、町内で活動する自治会やコミュニティ団体、自ら企画立案し具体化する活動にかかる事業の提案があり、審査の結果、次の事業を採択しました。今後、各団体は、この補助金により、健康で明るく元気なまち、そして魅力と活力あるまちを目指して事業を実施します。

▼団体名 黄金自治会

▼内容 黄金山神社周辺では、自然環境に恵まれ県内でも数少ないほたるの生息地となっており、この良好な自然環境を後世に引き継ぐとともに地区内の環境美化活動の充実を図り、涌谷町の観光スポットとして整備することを目的とします。

▼問い合わせ先 まちづくり推進課 ☎43-2119

遠田商工会商業部会

「2割増」商品券の販売について

▼販売開始 10月13日(土) 9時30分～

▼販売価格 1セット1万円 (千円券×12枚・1万2千円分の商品券を1万円で購入)

▼販売数 500セット限定

(1人2セットまで)

▼販売場所

- 遠田商工会 涌谷事業所(200セット販売)、小牛田事業所(200セット販売)、南郷事業所(100セット販売)
- ▼購入資格 涌谷町民または美里町民であること(18歳以上で免許証などで年齢・住所確認があります)
- ▼問い合わせ先 遠田商工会 涌谷事業所 ☎43-3450



全国地域安全運動が始まります

10月11日(木)から10月20日(土)までの10日間、犯罪のない安全で安心して暮らせる地域社会の実現を目的とした「全国地域安全運動」が展開されます。

子どもと女性の犯罪被害防止や振り込め詐欺などの特殊詐欺防止を重点事項として実施しますので、安全・安心なまちづくりのため、地域の防犯活動にご協力ください。

▼問い合わせ先 総務課 防災交通班 ☎43-2116

ごみについて考えてみませんか？ -その1-

～ごみの量と処理費用の関係～ ▶問い合わせ先

町民生活課町民生活班 ☎43-2113

毎日の生活の中で、必ず排出される「ごみ」。皆さんは、ごみを捨てる時にそのごみがどのように処理されるかを考えたことがありますか。

普段、意識することは少ないかもしれませんが、ごみ処理には、膨大な経費がかかります。

ごみの量が増えれば増えるほど、町の負担が増えることになります。ごみの量を減らし、ごみ処理経費を抑えるために、「ごみ」の削減にみんなで一緒に取り組んでみませんか。

《涌谷町のごみの排出量と大崎地域の排出量の推移》

年度別 地区	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	涌谷町	大崎地域 (涌谷町を含)	涌谷町	大崎地域 (涌谷町を含)	涌谷町	大崎地域 (涌谷町を含)
3月末現在の人口	16,908人	207,180人	16,728人	205,597人	16,485人	203,493人
燃えるごみ (年間)	4,989.5 t	62,927.3 t	4,922.3 t	62,459.0 t	4,897.1 t	62,896.8 t
一人一日当たり	808.5 g	832.1 g	806.2 g	832.3 g	813.9 g	846.8 g
燃えないごみ (年間)	361.1 t	4,959.9 t	351.6 t	4,767.3 t	318.4 t	4,646.7 t
一人一日当たり	58.5 g	65.6 g	57.6 g	63.5 g	52.9 g	62.6 g
合計	5,350.6 t	67,887.2 t	5,273.9 t	67,226.3 t	5,215.5 t	67,543.5 t
一人一日当たり	867.0 g	897.7 g	863.8 g	895.8 g	866.8 g	909.4 g
ごみの処理費用	164,101千円	2,033,583千円	151,186千円	1,864,535千円	169,614千円	2,133,592千円
人口一人当たりの費用	9,706円	9,816円	9,038円	9,069円	10,289円	10,485円

(ごみ排出量：大崎広域調・人口：宮城県人口移動調・処理費用：大崎広域負担金調書)

上記の処理費用(負担金)の計算は、人口割30%(国勢調査の人口)、処理実績割70%(2年前のごみ処理実績)です。平成29年度負担金は、平成27年度国勢調査人口(涌谷16,701人、大崎205,925人)、平成27年度処理実績(涌谷5,350t、大崎67,886t)を使用しています。

この表からも分かるように、平成29年度の涌谷町の一人一日当たりのごみ排出量は、大崎地域全体の平均より約43g少なくなっています。

ごみの量が少なくなれば、負担するごみ処理費用も少なくなります。各家庭から出るごみの約40%が生ごみで、生ごみの70%は水分です。生ごみの減量のため「買った食材を使い切る・作りすぎず食べ切る・水を切る」などを実践すれば、ごみ減量につながります。

また、ごみ袋にも料金がかかっています。草や剪定した枝なども乾燥させ体積を減らし、袋の使用数を減らすことで、家計の節約にもつながります。

次回は資源ごみについて掲載します。



各地区で実践するために！移動研修会を実施

8月28日(火)に、涌谷町公衆衛生組合連合会の組合長移動研修会を行いました。

大崎広域行政事務組合で、来年度から稼働予定のリサイクルセンターの回収方法の変更点などの説明を受け、移動の車中で、町のごみ処理費用や減量について研修し、山形市の立谷川リサイクルセンターで施設を視察。リサイクルとごみ減量の大切さを学んだ有意義な研修になりました。

相談



わくや子どもの心のケアハウス を開所

さまざまな悩みを抱え不登校になっている児童・生徒の居場所として、学びの場として「わくや子どもの心のケアハウス『コンパス』」を町民医療福祉センターに隣接する研修館内に開所しました。

学校復帰や社会的自立への足掛かりとなるよう、学校・諸関係機関と連携し一人一人の個性や教育的ニーズに応じた支援を行います。

豊富な教職経験を持つ心のケアスーパーバイザーとコーディネーターが携わります。



▼支援内容

●児童・生徒への支援 心のケアを行う「心のサポート」、早期の学校復帰を図るための

「適応サポート」、学習支援を行う「学びサポート」

●保護者への支援 相談活動 ●学校への支援 ケース会議への参加、別室登校学習への支援

▼開所日時 水曜日を除く平日 9時～16時

▼利用対象 涌谷町内の小・中学校の児童・生徒と保護者

▼場所 研修館内（涌谷町涌谷字中江南278）

▼問い合わせ先 わくや子どもの心のケアハウス「コンパス」 ☎25-7307

「行政相談週間」です

総務省は、行政相談制度の利用促進のため、「行政相談週間」を定め、全国一斉に各種行事を実施します。

行政相談は、国の仕事やサービス、各種制度の手続きなどでの困りごとや要望について相談に応じ、その解決の促進を図るものです。

行政相談委員は、身近な相談相手として懇切丁寧に対応するほか、この週間に合わせ、次のとおり行政相談所を開設します。相談料は無料、秘密は厳守します。



《消費生活相談会も同時開催》

クーリングオフなど、消費生活に悩んでいませんか？消費生活相談所を同時開設します。お気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は厳守します。

▼日時 10月22日(月) 10時～15時

▼場所 役場西庁舎第一会議室

▼問い合わせ先 町民生活課 町民生活班 ☎43-2113

里親制度の説明会を開催します

さまざまな事情で自分の家族と暮らせない子どもたちがいます。そのような子どもたちを家庭に迎え入れ、子どもの健やかな育ちを応援する制度が里親制度です。

説明会では、制度の話や体験談、個別相談会を行います。個別相談会への参加もお待ちしております。お気軽にお越しください。

この事業は、宮城県の里親

制度普及の一環として実施します。

▼日時 12月2日(日) 13時30分～16時

▼場所 涌谷公民館会議室 1・2(涌谷町字下道69-1)

▼問い合わせ先 みやぎ里親支援センターけやき ☎02-2-718-1003

ハローワーク古川 出張職業相談会

▼日時 10月30日(火) 10時～15時

▼場所 役場西庁舎第一会議室

▼内容 就職に関する相談全般、ハローワーク職員との職業相談、職業紹介、履歴書・職務経歴書の書き方相談や模擬面接など、就職に関する相談であればどんなことでも相談可能。事前申込は不要。

▼問い合わせ先 ハローワーク古川職業相談部門 ☎22-2305

法テラス無料法律相談会

弁護士との個別面談による法律相談会を行います。

▼相談内容 金銭貸借・相続・遺言・家庭内暴力・いじめ・不動産トラブル・生活困窮など（相談は予約優先）

▼申込期間 10月1日(月)～12日(金)

▼抽選予定日 10月22日(月)（複数申込の場合、抽選）

住宅名	家賃月額	間取	階層	世帯人数	戸数
八雲住宅 335号	23,700～46,500円	3DK	3階	2人以上	1戸
八雲住宅 414号	23,800～46,700円	3DK	1階	2人以上	1戸
八雲住宅 622号	24,000～47,200円	3DK	2階	2人以上	1戸
八雲住宅 633号	24,000～47,200円	3DK	3階	2人以上	1戸

申し込みは一世帯一戸に限る。駐車場は別途月2,000円がかかります。リフォームしていますが、建設から15年以上経過しているため、経年劣化している部分があります。

募集



▼町営住宅入居者募集

▼募集住宅

▼日時 10月18日(木) 13時～15時

▼場所 役場西庁舎第一会議室

▼問い合わせ先 法テラス東松島 ☎050-3383-0009（平日9時～17時）